ぼくのブック・ウーマン

⑤ ⑥ 時間目

名前　　年　組　番

「カル」と「ブック・ウーマン」の関わりを読もう。

❶ 本をかいした「カル」と「ブック・ウーマン」との関わりについて考えましょう。

ブック・ウーマンの印象
本への思い
女の人が馬に乗ってくるなんて
くだらない

ブック・ウーマンの印象
本への思い
勇気がある
読んでみたい

ブック・ウーマンに伝えた言葉
「ぼくも、何かプレゼントできればいいんだけど……」

カル ○ ブック・ウーマン

出会ったときの様子
本のおもしろさを知ってほしい

雪の日の様子
馬に乗ってやってきて本だけを手渡す

カルに伝えた言葉
「わたしのために本を読んでほしいわ」
「プレゼントはそれでじゅうぶん！」

「カル」の心をとかしたものについて考えよう。

❷「カル」にとっての本の存在を考え、心をとかしたものについて考えましょう。

当初の存在
くだらない
古びた本にお金なんか使えない

雪の日以降
読んでみたい

カルの心をとかしたものは？
危険を冒してもとどけてくれる本とは、どんなものだろうという思い。

❸「カル」と「ブック・ウーマン」の関わりについて考えたことを書きましょう。

本をとどけて本を読むことのすばらしさを伝えたブック・ウーマンは、言葉ではなく、その態度で伝えた。